

宇都宮市オリオン通りオープンカフェにおける設え-活動セットとエリアの特徴

地方都市における空地の構成に関する研究 (6)

正会員 ○渡邊 翼* 同 安森 亮雄**
同 大嶽 陽徳*** 同 泉山 墨威****
同 塚本 琢也***** 同 松本 大知*****

道路空間 設え アクティビティ
オープンカフェ 滞在

1. 序 本編では、前編で得られたオープンカフェにおける設えと活動を元に、設えと活動の関係とエリアの特徴を明らかにすることを目的とする。

2. 設えと活動の組合せ 前編の3章で導いた活動の種類と4章で導いた設え要素の組合せを合わせて検討し、設え-活動セットとして整理した(表1)。活動の種類は、設え要素の組合せ付近で行われたものを抽出し、一時間を1シーンとした。まず、複数看板(I)では、設えによらない「歩いてスマホを操作する」(I-1)と、看板を利用した「立って看板を見る」(I-2)がみられた。後者では看板を店舗と通りの間に設える傾向があった。複数販売什器(II)では、販売什器前で「立って買い物をする」がみられ、店舗内外の什器が連続して設えられる傾向がみられた。椅子・机(III)では、「歩いてスマホを操作する」もの(III-1)と、「座って飲食をする」ものがみられた(III-2)。椅子、机ではパラソルを合わせて設えるものが多く、パラソルによって人が滞在する場所を作り出していると考えられる。座った姿勢では複数の活動を同時に行うものもみられた。両者ともに店舗の壁面前に設える傾向がみられた。また、椅子+机+看板、販売什器(IV)では、「歩いてスマホを操作する」もの(IV-1)と、「座って飲食をする」もの(IV-2)、「遊び」を行うもの(IV-3)、「座って人を眺める」もの(IV-4)、「立って看板を見る」もの(IV-5)、「立って買い物をする」もの(IV-6)の6つの活動がみられた。「立って買い物をする」もの(IV-6)では、「看板を読む」ものもみられ、看板が設えられているカウンター前で多くみられた。

3. オリオン通りにおけるオープンカフェの時間変化と配列

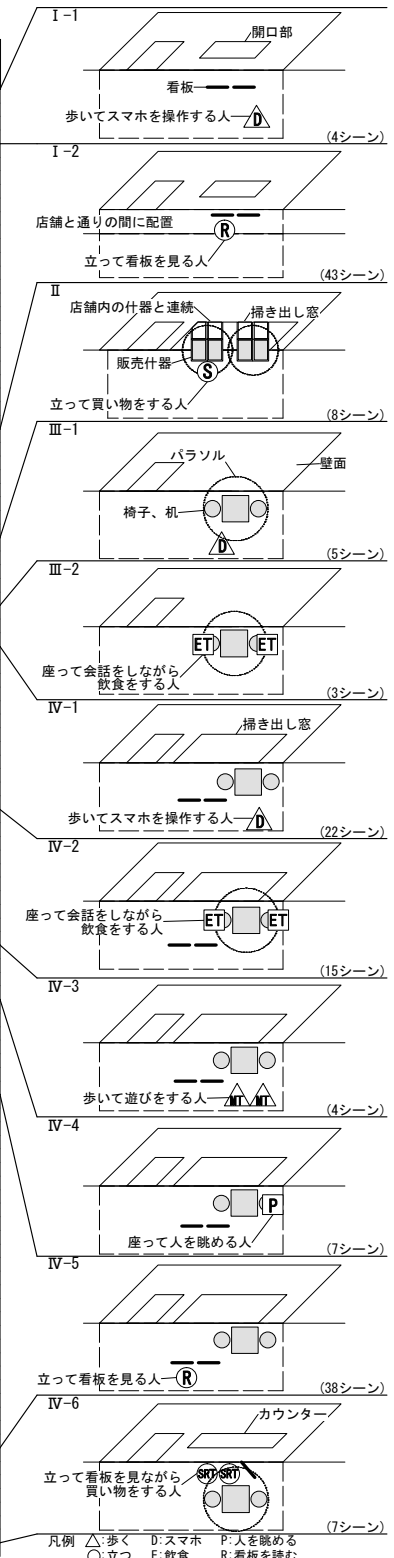
3.1 オリオン通りにおける設え-活動セットの時間変化

前章で導いた設え-活動セットを時間毎に合わせて整理した(表8)。まず、12:00から15:00までの時間帯では「歩いてスマホ」(IV-1)や、「立って看板を見る」(I-2、IV-5)がみられた。15:00から18:00までの時間帯では、前述同様の活動に加え、「座って飲食をする」活動(IV-2)や、「立って買い物をする」(IV-6)がみられた。18:00以降の時間帯では、「立って看板を見る」(I-2、IV-5)がみられた。このことから看板では時間帯に偏りなく活動が起こり、椅子、机は15:00から18:00の間に利用されやすいと考えられる。

3.2 店舗毎の設えの組合せ 2章で検討した設え要素の組合せは店舗毎に設え方が異なる。そこで、店舗毎の設えの組合せを検討した結果、まず、複数看板(I)と椅子

表1 設え-活動セット (169シーン)

資料番号	設え要素の組合せ(表6)	パラソル	配座(図6)	活動の種類(表4)
11-12	有	有	有	D1 △
11-19	有	有	有	D1 △
3-13	有	有	有	D1 △
6-15	有	有	有	D1 △
5-14	有	有	有	R1 ○
5-15	有	有	有	R1 ○
5-16	有	有	有	R1 ○
5-17	有	有	有	R1 ○
7-17	有	有	有	R1 ○
16-21	有	有	有	R2 ○
5-19	有	有	有	R2 ○
7-18	有	有	有	R2 ○
5-20	有	有	有	R3 ○
7-19	有	有	有	R3 ○
5-12	有	有	有	R4 ○
5-14	有	有	有	R4 ○
5-18	有	有	有	R4 ○
5-15	有	有	有	R4 ○
5-17	有	有	有	R5 ○
16-12	有	有	有	R6 ○
16-18	有	有	有	R6 ○
16-20	有	有	有	R6 ○
16-17	有	有	有	R9 ○
16-19	有	有	有	R11 ○
他23例				
2-13	有	有	有	S10 ○
2-14	有	有	有	S6 ○
2-16	有	有	有	S8 ○
2-12	有	有	有	S9 ○
2-15	有	有	有	S9 ○
2-13	有	有	有	S12 ○
2-15	有	有	有	S12 ○
2-14	有	有	有	S18 ○
15-17	有	有	有	D1 △
15-19	有	有	有	D1 △
17-17	有	有	有	D1 △
17-19	有	有	有	D1 △
15-12	有	有	有	D13 △
15-16	有	有	有	EDMT2 □
15-17	有	有	有	EDMT2 □
15-12	有	有	有	ET3 □
10-18	有	有	有	D1 △
10-21	有	有	有	D1 △
11-14	有	有	有	D1 △
12-17	有	有	有	D1 △
12-18	有	有	有	D1 △
12-20	有	有	有	D1 △
14-12	有	有	有	D1 △
15-13	有	有	有	D1 △
17-16	有	有	有	D1 △
9-12	有	有	有	D1 △
9-13	有	有	有	D1 △
他11例				
15-12	有	有	有	E01 □
10-19	有	有	有	E4 □
14-18	有	有	有	E4 □
15-12	有	有	有	E4 □
14-18	有	有	有	E5 □
15-18	有	有	有	EDMT2 □
15-17	有	有	有	EDMT3 □
15-15	有	有	有	EDMT4 □
15-16	有	有	有	EDMT5 □
他6例				
4-13	有	有	有	M1 ○
4-18	有	有	有	M1 ○
15-18	有	有	有	MDT2 △
15-14	有	有	有	MT2 △
11-16	有	有	有	P1 ○
17-13	有	有	有	P1 ○
3-14	有	有	有	P1 ○
4-16	有	有	有	P1 ○
4-17	有	有	有	P1 ○
6-17	有	有	有	P1 ○
9-18	有	有	有	P1 ○
11-15	有	有	有	R1 ○
11-16	有	有	有	R1 ○
11-13	有	有	有	R1 ○
14-12	有	有	有	R1 ○
3-12	有	有	有	R1 ○
3-14	有	有	有	R1 ○
9-12	有	有	有	R1 ○
9-20	有	有	有	R1 ○
9-15	有	有	有	R2 ○
9-16	有	有	有	RDT2 ○
12-20	有	有	有	R2 ○
14-12	有	有	有	R2 ○
14-15	有	有	有	R2 ○
3-18	有	有	有	R2 ○
9-12	有	有	有	R2 ○
9-14	有	有	有	R2 ○
11-21	有	有	有	R3 ○
12-20	有	有	有	R3 ○
9-18	有	有	有	R3 ○
11-12	有	有	有	R4 ○
11-13	有	有	有	R4 ○
11-20	有	有	有	R4 ○
12-18	有	有	有	R4 ○
11-19	有	有	有	R5 ○
11-18	有	有	有	R6 ○
他13例				
15-15	有	有	有	SRT1 ○
15-16	有	有	有	SRT10 ○
15-17	有	有	有	SRT10 ○
15-15	有	有	有	SRT12 ○
15-18	有	有	有	SRT2 ○
15-15	有	有	有	S1 ○
15-15	有	有	有	S11 ○



※注1) 前編の表と同様に記号する。
※注2) 会話(1)は人数によるため下位の分析とする

凡例 △:歩く D:スマホ P:人を眺める
○:立つ E:飲食 R:看板を読む
□:座る M:遊び S:買い物 I:会話

子+机+看板、販売什器（IV）を合わせて設えるものが多く、飲食店で多くみられた（表9）。複数看板（I）と椅子+机（III）を複数設えるものもみられた。また、同じ設え要素の組合せを複数設えるものでは、飲食店に多くみられた。椅子+机（III、IV）を多く配置する店舗は、その他の業種でみられ、設え要素の組合せを単体で配置するものは販売を行う店舗でみられた。

4.3 オリオン通りにおけるオープンカフェの配列

2章で導いた設え-活動セットをもとにオープンカフェ実施時における店舗の特徴を検討した結果、大きく4つのエリアに分けられ、それぞれに特徴がみられた（図7）。まず、エリア①では、「座って人を眺める」（IV-4）という活動が多くみられ、これはイベントスペースであるオリオンスクエアがあることからイベントを見るために椅子に座って人の様子を眺めていると考えられる。時間毎の特徴をみると、12:00 から18:00 までの時間帯で「立って買い物をする」（II）活動が多く行われていることが分かる。次にエリア②では、飲食店が多く集まっており、それに伴って各店舗の設えも多く、複数看板（I）と椅子+机+看板、販売什器（IV）が多く設えられる傾向にあった。また、「立って看板を見る」（I-2、IV-5）や「歩いてスマホを操作する」（I-1、IV-1）という活動がほとんどの時間で多くみられ、これは、県庁と市役所を結ぶシンボルロードに隣接して交通量が多いためと考えられる。そして、エリア③では、椅子+机（III）と椅子+机+看板、販売什器（IV）を設える店舗が多く、「座って飲食をする」（III-2、IV-2）活動が15:00 から18:00 までの間に集中して多い傾向にあった。また、「立って買い物をする」（IV-6）も多くみられ、カウンター前に設えられた看板を読みながら買い物をするという複数の活動を同時に行うものであった。そして、エリア④では、看板を複数設える店舗（I）がみられ、「立って看板を見る」（I-2）がほとんどの時間帯でみられた。

5. 結 オープンカフェにおける設えと活動を元に、活動を合わせて検討した。その結果、看板を複数設えるものや、販売什器を複数設えるもの、椅子と机を設えるもの椅子と机、看板、販売什器など複数の要素を設えるものがみられ、中でも椅子と机、看板、販売什器を設えるものは様々な活動がみられた。また、設え-活動セットに時間毎に合わせた検討から、看板はどの時間帯でも利用され、椅子・机は15:00 から18:00 の時間帯に利用されやすいことを明らかにした。そして、店舗毎の設えは複数の看板と、椅子と机、看板、販売什器を合わせて配置する店舗が多く、椅子、机を多く配置する店舗もみられた。最後に設え-活動セットをもとに店舗毎の特徴を検討した結果、座って人を眺めるものが多いエリアと、複数の看板と椅子と机、看板を設える店舗が多く、立つと歩く姿勢が多いエリア、椅子と机、看板を複数設える店舗が多く、座る姿勢が多いエリア、看板を複数設える店舗がみられ、立って看板を見る活動が多いエリアの4つのエリアの特徴が明らかになった。これらの中でも、椅子・机を多く設え、座る活動のあるエリアは滞在時間が長く、効果的に道路空間を活用する方法の一つであると考えられる。

表2 時間毎の設え-活動セットの特徴 (156シーン)

時間	A		B		C		D		E		F	
	I-1	III-1	IV-1	I-2	IV-5	III-2	IV-2	II	IV-6	IV-3	IV-4	
12:00~	1	1	5	6	7	1	2	1				
13:00~			4	3	4			2		1	1	
14:00~			2	2	4		2	2		1	1	
15:00~	1		1	4	4		1	2	4			
16:00~			2	2	4	1	2	1	1		2	
17:00~			2	4	6	2	1	3		1		2
18:00~			2	7	5		3			1	2	
19:00~	1	2		5	3		2				1	
20:00~			1	6	4							
21:00~			1	1	1							
22:00~				1								
23:00~												
合計	4	5	22	43	38	3	15	8	7	4	7	

表3 店舗の設え要素の組合せ (19店舗)

No	業種	設え要素の組合せ
1	飲食	I, IV
3	飲食	I, IV
4	その他	I, IV
6	飲食	I, IV
7	飲食	I, IV
9	飲食	I, IV
10	飲食	I, IV
11	飲食	I, IV
5	飲食	I, III × 2
16	飲食	I, III × 2
15	その他	III × 2, IV
17	その他	III, IV
18	飲食	I × 2
12	飲食	IV × 2
14	飲食	IV × 2
2	販売	II
8	販売	II
13	販売	IV

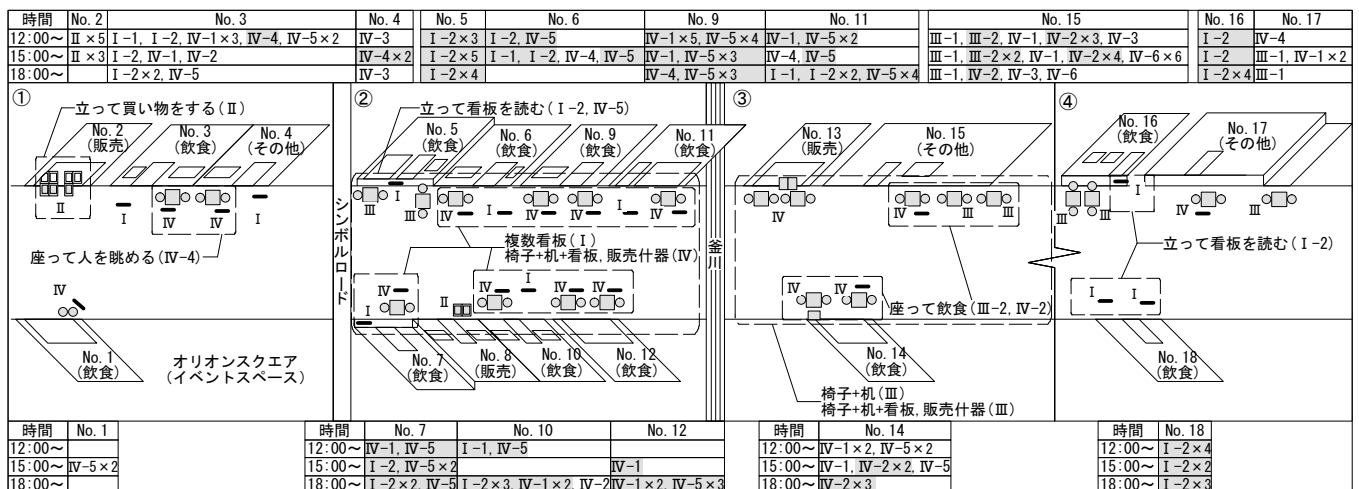


図1 店舗及びエリア毎の設え-活動セットの特徴

図注)No.8とNo.13は活動がみられなかった

* 株式会社 MDI
 ** 宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 博士 (工学)
 *** 宇都宮大学地域デザイン科学部 助教 博士 (工学)
 **** 東京大学先端科学技術研究センター 助教 博士 (工学)
 ***** 宇都宮大学大学院工学研究科 博士前期課程

* MDI Ltd.
 ** Assoc.Prof., School of Regional Design, Utsunomiya Univ., Dr.Eng.
 *** Asst.Prof., School of Regional Design, Utsunomiya Univ., Dr.Eng.
 **** Asst.Prof., Research Associate, Research Center for Advanced Science and Technology, Univ. of Tokyo, Ph.D.
 ***** Graduate Student, Graduate School of Eng., Utsunomiya Univ.